

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科(昼間部)		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法		講義	
科 目 名	聴覚系の構造・機能・病態		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30	(2) 時間(単位)	
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期 月曜3時限	教室名	第4校舎401教室		
担 当 教 員	矢部洋子	実務経験とその関連資格	和歌山県、兵庫県の病院にて、耳鼻咽喉科、小児科発達外来、リハビリテーション科などで聴覚障害、言語発達障害、失語・高次脳機能障害等の言語聴覚療法に従事					
《授業科目における学習内容》								
聴覚器官における、末梢から中枢にいたる構造や神経機能、病態についての基礎知識を修得する。								
《成績評価の方法と基準》								
筆記試験にて60%以上の得点をもって合格とする。								
《使用教材(教科書)及び参考図書》								
配布資料 テキスト:病気が見えるvol.13耳鼻咽喉科(メディックメディア)								
《授業外における学習方法》								
指定教科書の該当範囲を事前に読んでおく。授業ごとにまとめノートを作成する。								
《履修に当たっての留意点》								
小単元ごとに随時小テストを行います。また構造、機能の学習終了後に中間テストを実施します。聴覚に関する最も基礎となる科目です。分からないことは積極的に質問してください。一緒に頑張りましょう。								
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容			
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴器の末梢から中枢に至る構造の概要を理解し説明できる	PC、プロジェクタ、配布資料	教科書の該当箇所を読んでおくこと			
		各コマにおける授業予定	聴器の構造、伝音系と感音系について学ぶ					
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	外耳～中耳の構造、機能を理解し説明できる	PC、プロジェクタ、配布資料	教科書の該当箇所を読んでおくこと			
		各コマにおける授業予定	耳介、外耳道、鼓膜の解剖 集音機能、外耳道の音響効果、オーディオグラムについて学ぶ					
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	中耳の構造を理解し説明できる	PC、プロジェクタ、配布資料	教科書の該当箇所を読んでおくこと			
		各コマにおける授業予定	鼓室、耳管、耳小骨、耳小骨筋の解剖 オーディオグラムのA-Bgapについて学ぶ					
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	内耳の構造を理解し説明できる	PC、プロジェクタ、配布資料	教科書の該当箇所を読んでおくこと			
		各コマにおける授業予定	蝸牛、前庭、半規管の解剖を学ぶ					
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	中耳の伝音機能について理解し説明できる	PC、プロジェクタ、配布資料	教科書の該当箇所を読んでおくこと			
		各コマにおける授業予定	中耳伝音機構の面積比、テコ比、相殺作用などについて学ぶ					

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 内耳の感音機能について理解し説明できる	PC、プロジェクタ、配布資料	教科書の該当箇所を読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	蝸牛の基底板、コルチ器、聴神経などについて学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 後迷路の機能、両耳聴のしくみを理解し説明できる	PC、プロジェクタ、配布資料	教科書の該当箇所を読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	聴覚伝導路、聴覚中枢機能、両耳聴効果について学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 聴器の構造・機能について中間テストを行い、内容の80%以上の知識を修得する	PC、プロジェクタ、配布資料	中間テストに向けて復習すること
	各コマにおける授業予定	第1回～7回までの中間テスト、自己振り返りを行う		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 外耳疾患による伝音性障害について理解し説明できる	PC、プロジェクタ、配布資料	教科書の該当箇所を読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	障害部位による難聴の分類、外耳道疾患の種類と特徴について学ぶ		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 中耳疾患による伝音性障害について理解し説明できる	PC、プロジェクタ、配布資料	教科書の該当箇所を読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	中耳疾患の種類と特徴について学ぶ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 内耳疾患による感音性障害について理解し説明できる①	PC、プロジェクタ、配布資料	教科書の該当箇所を読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	内耳疾患の種類と特徴について学ぶ①		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 内耳疾患による感音性障害について理解し説明できる②	PC、プロジェクタ、配布資料	教科書の該当箇所を読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	内耳疾患の種類と特徴について学ぶ②		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 後迷路障害、中枢性聴覚障害について理解し説明できる	PC、プロジェクタ、配布資料	教科書の該当箇所を読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	聴神経性難聴、脳幹性難聴、皮質性難聴などの種類と特徴について学ぶ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 先天性難聴について理解し説明できる	PC、プロジェクタ、配布資料	教科書の該当箇所を読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	遺伝性難聴、胎生期難聴、周産期難聴の種類と特徴について学ぶ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 これまでの授業を振り返り、知識を整理することができる。国試過去問を60%以上解くことができる	PC、プロジェクタ、配布資料	これまでの復習を行い質問事項をまとめること
	各コマにおける授業予定	9回～14回までの復習、代表的疾患のオーディオグラムの解説、国試過去問を実施する		